

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公開番号】特開2000-34367(P2000-34367A)

【公開日】平成12年2月2日(2000.2.2)

【出願番号】特願平11-187784

【国際特許分類】

C 08 L 21/00 (2006.01)
C 08 J 3/24 (2006.01)
C 08 L 23/10 (2006.01)

【F I】

C 08 L 21/00
C 08 J 3/24 C E Q
C 08 L 23/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月16日(2006.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 熱可塑性加硫ゴム組成物であつて、
ゴムを約20乃至約85重量部、及び、半結晶性ポリプロピレン及びランダムプロピレン
コポリマーを合わせて約15乃至約80重量部含み、前記重量部は前記ゴム、前記ランダム
プロピレンコポリマー、及び前記ポリプロピレンの100重量部に基づいており、
前記ポリプロピレンの前記ランダムプロピレンコポリマーに対する重量比は、約100：
2乃至100：400であり、前記ランダムプロピレンコポリマーは、前記ランダムプロ
ピレンコポリマーの重量に基づき、約80乃至約95重量%のプロピレンに由来する繰り
返し単位及び約5乃至約20重量%の一つ以上の2又は4乃至12の炭素原子を有する他
の不飽和オレフィンモノマーに由来する繰り返し単位を含み、
前記ゴムは、エチレンプロピレンジエンゴム、天然ゴム、ブチルゴム、ハロブチルゴム、
p-アルキルスチレンと4乃至7の炭素原子を有する少なくとも一つのイソモノオレフィン
とのハロゲン化されたゴムコポリマー、イソブチレンとジビニルベンゼンとのコポリマ
ー、4乃至8の炭素原子を有する共役ジエンのゴムホモポリマー、又は4乃至8の炭素原
子を有する少なくとも一つ以上の共役ジエンに由来する繰り返し単位を少なくとも50重
量%有するゴムコポリマー、又はこれらの組み合わせを含む、組成物。
【請求項2】 前記ランダムプロピレンコポリマーが、75J/g未満の融解熱を有する
、請求項1記載の組成物。